

No8-1 業務改善運動の取組状況について

1 燕市業務改善運動「TQC」

新庁舎開庁を契機として、平成 25 年 5 月 7 日から燕市業務改善運動 (Tsubame work Quality Challenge) に取り組んでいます。

2 TQC の仕組み

(1) 基本実践

全所属・全職員が共通して取り組む内容として、今年度は 10 項目の取り組みを行っています。

例：燕市公式ウェブサイトの適切な運用、ミーティングの開催
デスク周りの整理・整頓、文書管理ルールの徹底 など

(2) 自主実践〔業務レベル〕

各所属でそれぞれ取組内容を決定して実践します。

今年度は、全所属合計で 44 件の取り組みを行っています。

例：床面に誘導テープを貼り、健（検）診のスムーズな進行



3 平成 26 年度の取り組み

(1) 自主実践「事業レベル」の取組開始

自主実践について、下記の内容を含む取り組みも対象として、新たに「事業レベル」の取り組みを開始しました。

- ①業務をステップアップさせる取り組み
- ②事業内容、制度、仕組み等の見直しを含む取り組み
 - ・ 予算が一定程度必要となる取り組み
 - ・ 例規改正が必要な取り組み
 - ・ 他所属等との連携が必要な取り組み

(2) アイデア発表会の実施

各所属から報告された自主実践「事業レベル」の取り組みについて、10月に庁内のアイデア発表会を実施し、アイデアの磨き上げを行いました。

その結果、下半期から開始した取り組み（ふるさと燕応援寄附金のお礼の品の拡充）や、来年度の事業化に向けて前進した取り組み（誰でも見やすく検索しやすい燕市公式ウェブサイトへのデザイン変更）がありました。



(3) 「全国都市改善改革実践事例発表会」への出場

自治体の業務改善発表会の全国大会に当たる「全国都市改善改革実践事例発表会」が今年度は三条市で開催され、燕市からも出場する予定です。

- ①開催日：平成 27 年 3 月 27 日（金）
- ②発表テーマ：『太陽の恵みを受けて世界に羽ばたくつばめっ子』
- ③発表内容：市内の小中学校や企業の屋上を太陽光発電事業者に貸し出し、その賃貸料収入を活用して子どもの英語教育を推進し、世界で活躍する人材の育成を図る取り組み
- ④事業名：「燕子ども応援※おひさまプロジェクト」（生活環境課）
「Jack & Betty プロジェクト」（学校教育課）